

町の魅力と外国人のおもてなしをみんなで考える

紀宝町の魅力の発信と 英語ガイドの養成講座を開催

町は、2月24日、25日、3月10日、11日の4日間、紀宝町の魅力の発信と英語ガイドの養成講座を開催しました。

同講座は、ワークショップ形式で町の魅力を再発見し、その魅力を英語で情報発信することを通して、町を訪れる外国人をおもてなしできる人材を養成する目的で開催しました。

町内在住者14名のほか、紀宝町地域おこし協力隊、農家民宿や熊野川体感塾、角川ドワンゴ学園が運営するN高等学校生など12名が参加して、町の名所などを実際に巡り、外国人旅行者に向けたパンフレットづくりを通し、町の魅力とおもてなしの心を学びました。



パンフレットを作る参加者たち

Town topics

2/24・25・3/10・11

体を動かす喜びに触れてもらおうと

成川保育所でサッカー教室を開催

成川保育所は2月27日、三重県サッカー協会のキッズ委員会のコーチを招き、サッカー教室を行いました。

これは、同協会が、みんなで一緒にボールに触れ、サッカーを楽しむことで、子どもたちに体を動かすことの喜びを知ってもらい、体を動かすことが大好きな子どもたちを一人でも増やしたいとの思いから、三重県内の各地を巡回しているものです。

参加した4・5歳児の園児たちは、コーチの言うことをしっかりと聞きながら、ボールを使いながら体を動かしたり、ゲーム形式でボールに触れてみたりして、サッカーをめいっぱい楽しんでいました。



サッカーゲームを楽しむ園児たち

Town topics

2/27

いつまでも美しい桜を楽しめるように

大里親水公園で桜を植樹

大里桜愛好会のメンバーは、3月4日、大里親水公園で桜の植樹を行いました。

大里親水公園の桜は、昭和50年に同会が昭和天皇在位50周年記念として植樹したものです。現在では、桜の名所として、春には近隣から多くの花見客が訪れている人気スポットとなっています。しかし、樹齢40年以上が経過し近年衰えが見えること、また台風などで公園内も荒れていることから、このたび「平成の桜」としてソメイヨシノ10本、ヒガンザクラ5本を植樹しました。

瀬越代表は「来年以降も続けて行っていきたいと考えており、苗木のオーナーを募集しています」と話していました。

活動に協力される方は、大里桜愛好会 瀬越（☎34-0776）までご連絡ください。



01. 大里桜愛好会のメンバーら。02. 桜の苗木が倒れないよう固定。

Town topics

3/4



02



01. 中村翼さんの講演。02. 着付け教室。03. 第2次地域福祉活動計画啓発コーナー。04. オープニングを飾った矢淵中学校吹奏楽部の演奏。05. 手話教室。06. フリーマーケットには子どもたちも出店。07. 新鮮な野菜も販売。08. まんぷくエリアで腹ごなし。09. イベントには多くの方が来場していました。

Town topics

3/11

ありがとうの笑顔が会場中にあふれる

社協つれもてまつりを開催

町社会福祉協議会は3月11日、福祉センターで第12回社協つれもてまつりを開催しました。

このイベントは、地域の絆を深め、福祉の輪を広げることを目的に毎年開催されており、食べ物の容器やはしなどの持参を呼びかけたエコイベントを提唱しています。

来場者たちは、「まんぷくエリア」、「あそび・まなびエリア」、「ふれあいエリア」に分かれた会場内で、フリーマーケットやゲーム、防災啓発など、さまざまなブースを楽しみました。午後からは阪神大震災の日生まれた中村翼さんによる命の尊さ、助け合いの大切さについての講演が行われ、会場はありがとうの笑顔であふれていました。

伝統的な食文化を保存・継承していくために

なれ寿し教室を開催

町は、2月14日、28日の2日間、浅里生活改善センターでなれ寿し教室を開催しました。

これは、高齢化や人口減で作り手が少なくなっている、伝統的な食文化を保存・継承していくために行ったものです。

2月14日は、参加者たちはサンマの捌き方や塩漬け、塩抜き、お米の炊き方、木箱への詰め方などの工程を見たり体験したりした後、発酵までの保管方法を学びました。28日は、2週間寝かせたなれ寿しを取り出し、試食し、桶ごとの味の違いなどを楽しみました。

参加者らは、体験中とても熱心に講師に質問し、「知らなかったことやポイントが分かりとても参考になった。」と話していました。

Town topics

2/14・28



01. 柔らかく炊いたご飯を細長く握る参加者ら。02. 隙間ができないように木箱になれ寿し48本を詰める。